

藤里町長選挙

石岡錬一郎氏

4期目を無投票当選

任期満了に伴う藤里町長選挙が7月31日に告示され、現職の石岡錬一郎氏（67歳）以外に立候補の届け出がなく、無投票での4期目当選を果たしました。



4期目を迎え花束を贈られる石岡町長

持保全、生命や自然の大切さを学び郷土愛を育てるふるさと教育の推進、地域住民で支え合う福祉活動としてボランティア活動の活性化、エコ、グリーン・ツーリズムによる交流人口の拡大、青少年や中高年者のスポーツ振興による健康増進など。この公約に職員の方々が肉付けをしていた。単独立町のために仕事をするのではなく、町民の幸せのために一緒に力を合わせて頑張りたい。」とあいさつ。今後の決意を述べられました。

【略歴】

昭和14年12月5日生まれ 金足農業高等学校卒業後、大沢農協勤務を経て役場入り。企画開発課長、農林課長を歴任後、平成7年8月町長選に立候補し、初当選（平成11年、15年無投票当選）山本郡三町連絡協議会長・県町村会理事・県軟式野球連盟顧問・株式会社藤里開発公社代表取締役社長



就任にあたって

このたび、皆さんの暖かなご支援を受け、4期目の当選を果たすことができました。

単独立町を選出し、徹底した行財政改革に取り組んでおりますが、様々な問題に対し、一つひとつ確実に取り組んでいかなくてはならないと決意しております。

私が今回公約に掲げましたことは、複合経営や認定農業者、組合法人、集落営農など、それぞれの希望に添った支援、貴重な財産である森林資源の維持保全、郷土愛を育てるふるさと教育の推進、町民が支え合う福祉の充実、エコ、グリーン・ツーリズムによる交流人口の拡大、青少年や中高年者のスポーツ振興による健康の増進であります。

単独立町は行財政改革のみで実現できる問題ではなく、これから公約の継続的な推進が条件であることはこれまでに幾度となく唱えてまいりました。

今後は、町の持続的発展を目指して邁進する所存であります。が、そのためにはやはり町民の皆さまの力が不可欠です。

「共に励み、共に喜ぶ町づくり」

あらゆる面で皆さまの知恵をお借りしながら、官民一体となつて町づくりに励んでいきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。